

# 立教池袋 運動部通信

第58号

お待ちせしました。運動部通信新人戦特集号です。秋の大会での活躍の様子をご報告します！

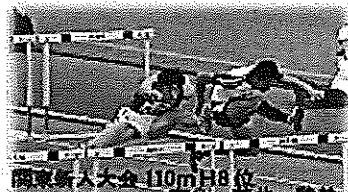
No.1

## 陸上競技部

高校関東新人に3名が出場

荒井110mハードルで関東8位  
中学生 豊島区大会総合優勝

3日間に渡って行われた東京都高校新人大会に本校から多くの選手が出場した。注目の100mでは高1大野が11秒02で4位に入賞。110mハードルで新キャプテンの荒井が15秒07の自己ベストをマークして2位。高1本橋は経験の浅い3000m障害で9分35秒82の好記録で3位に入賞し、3名で関東新人大会の出場を果たした。他にも400mハードルで竹内が7位、ハンマー投で小塚が8位、4×100mリレーでも荒井-瀧淵-竹内-大野とつないで6位にそれぞれ入賞し、トラック部門では総合6位となり強豪校と肩を並べる結果となった。



関東新人大会 110mハードル 高2 荒井 競技

神奈川県で行われた関東大会では荒井が決勝に進出し8位に入賞した。

また、オリンピックによる改装を控える国立競技場にて中学生の豊島区大会が行われた。各項目において多くの選手が活躍し上位入賞を重ねる中、学校総合争いは最終項目となる各学年別のリレーまでで本郷とわずか1点差の接戦にもつれ込んだ。

まず中1が健闘して本郷に先着する3位に入ると、中2も本郷を抑えて優勝し差を広げた。中3は僅差で敗れるも着実に2位となり、総合得点では2点差で逃げ切りに成功。実に12年ぶりとなる総合優勝を手にした。

その後、支部対抗戦で行われる都大会では、豊島区代表として中1の渡邊が1500mに、関東出場の中島が110mハードル、全国出場の中島が400mに出場した。山口は4位、中島は6位に入賞。さらに中島は豊島区選抜のリレーメンバーとして優勝を飾り、それぞれ豊島区チーム(男子総合7位)に大きく貢献することができた。

これからは長い冬の練習期に突入する。来年の春夏にいい結果を残せるよう、しっかりとトレーニングを積みたい。今後とも応援よろしくをお願いします。



豊島区大会総合優勝



～秋の大会特集号～  
2013.11.22

ゴルフ部 夏・秋の戦績



### 中学

○関東ジュニアゴルフ選手権予選競技 (7/22 浜野 GC)

1位③塚本 岳 (69)、5位③樋口 匠 (74)、10位③青木公翼 (77) ⇒関東決勝大会へ

○関東ジュニアゴルフ選手権決勝競技 (7/31～8/2 袖ヶ浦カントリークラブ)

個人戦 7位③塚本 岳 ⇒日本ジュニアゴルフ選手権競技へ、21位③青木公翼、30位③樋口 匠

○日本ジュニアゴルフ選手権 (8/21～23 霞ヶ関CC)

6位③塚本 岳

○関東中学校ゴルフ選手権大会 (団体6/14 個人7/24 大宮国際CC)

団体の部 **優勝** ③塚本、③青木、③樋口、②吉田 (212) ⇒2年連続優勝・6年連続全国大会へ

個人の部 Bブロック **優勝** ③樋口 匠 (66)、7位③塚本 岳 (71)、8位③青木公翼 (72) ⇒全国大会(個人)へ

44位③金子憲洋 (81)、58位②柳澤 陸 (86)

Cブロック 11位③笹井孝祐 (72)、26位③星 一生 (75)、35位②吉田圭吾 (78)

55位③山田智大 (84)、63位②西森大芽 (86)

○全国中学校ゴルフ選手権大会 (団体8/7～8、個人8/10～11 三重白山GC)

団体の部 2位=451 (230・221) (準優勝！)

③青木 (154=80・74)、③塚本 (138=69・69)、③樋口 (159=81・78)、③笹井 (81・-)、②吉田 (-・86)

個人の部 12位③塚本 岳 (144)、出場③青木公翼、出場③樋口 匠

○夏季合宿中の立教杯 (8/19～20 サンコー72CC)

中学1位 ③青木公翼 (141)、2位③笹井孝祐 (146)、3位③樋口 匠 (147)

### 高校

○関東ジュニアゴルフ選手権予選競技 (7/22 日高CC)

第1ブロック第3予選競技 6位①森川治門 (74) ⇒関東決勝大会へ

○関東ジュニアゴルフ選手権決勝競技 (7/31～8/2 袖ヶ浦カントリークラブ)

個人戦 出場①森川治門

○東京都高等学校ゴルフ選手権 春季大会 Bブロック (6/8 取手国際GC)

個人の部 11位①森川治門 (73)、13位①鶴田宙大 (73)、15位②小島翔太 (75)、17位③佐藤正晴 (76) ⇒関東大会へ

団体の部 3位 ①森川・②小島・③佐藤・③前田・①鶴田 (224) ⇒関東大会へ

○関東高等学校ゴルフ選手権決勝大会 (7/27～28 那須野ヶ原CC)

個人の部 9位①森川治門 (70) ⇒全国大会(個人)へ、出場②小島翔太、出場③佐藤正晴、出場①鶴田宙大

団体の部 12位 ①森川・②小島・③佐藤・③前田・①鶴田 (222) ⇒全国大会(団体)へ

○全国高等学校ゴルフ選手権大会 (団体8/7～8、個人8/10～11 三重白山ヴィレッジGC)

団体の部 37位=480 (247・233)

①森川 (153=78・75)、②小島 (163=84・79)、③佐藤 (164=85・79)、③前田 (90・-)、①鶴田 (-・84)

個人の部 出場①森川治門

○東京都高等学校ゴルフ選手権 秋季大会 (11/5 取手国際GC)

Aブロック 17位①永尾瑠希 (81)、17位①森川治門 (81) ⇒関東大会へ

33位①鶴田宙大 (87)、37位①谷口大和 (88)、65位①坂本理久 (96)、65位①兼田頌梧 (96)、

87位①小林賢太 (103)

Bブロック 10位②小島翔太 (78)、17位①福田博之 (79) ⇒関東大会へ、29位①小林輝貴 (84)

○夏季合宿中の立教杯 (8/22～23 サンコー72CC)

高校1位②小島翔太 (104)、2位①森川治門 (107)、3位①福田博之 (110)

### 山岳スキー部(中学)

全国中学校スキー大会東京都選考会 大会日程

2014年1月3日(金)～6日(月)、北志賀よませ温泉スキー場にて全国中学校スキー大会東京都選考会が行われます。年に一度の中学の大会です。

### 山岳スキー部(高校)

全国関東高等学校スキー大会東京都予選会 大会日程

2014年1月4日(土)～8日(水)、群馬県鹿沢スノーエリアスキー場にて全国関東高等学校スキー大会東京都予選会が行われます。インターハイ・関東大会につながる大会です。

東京都高等学校スキー大会 大会日程

2014年2月13日(木)～17日(月)、新潟県セントレジャー・舞子スノーエリアにて東京都高等学校スキー大会が行われます。唯一学校対抗のある大会です。



# 中・高 水泳部 大会結果報告

夏休みは、「質」、「量」共に1年間でもっとも高い期間。1回6000m~9000mの練習をときには1日2回こなし、全員が力をつけることができました。外プールのときは豪雨や雷で練習を中断しなければならないときや、9月は寒くぶるぶる震える生徒もいる状況でしたが、今年は恵まれた環境で練習に集中することができました。以下は9月に行われた大会の結果です。

## □東京都中学校学年別水泳競技大会 (9月7日・8日)

●50m 自由形 <1年の部> 第84位 赤松駿樹 33秒64 第137位 石松直樹 35秒60 第207位 遠藤雄太 39秒88	●100m 自由形 <1年の部> 第35位 小畑大貴 1分07秒95 第40位 高野大希 1分09秒30 第58位 高田レオナ 1分15秒42	●100m 自由形 <2年の部> 第21位 菊池一成 1分01秒27 第24位 東海林輝之 1分02秒00 第56位 伊与久純平 1分08秒90	●100m 自由形 <3年の部> 第18位 黒田大貴 1分00秒44 第46位 丸山峻輝 1分04秒93 第71位 雨宮大河 1分10秒89	●100m 背泳ぎ <1年の部> 第17位 岡田凱人 1分15秒17 第25位 内藤匠海 1分20秒25	●50m 平泳ぎ <1年の部> 第68位 渡邊翔太 45秒60	●100m バタフライ <3年の部> 優勝 芝本新里 58秒02	●200m フリーリレー 第12位 芝本新里・黒田大貴・東海林輝之・菊池一成 1分48秒03	●200m メドレーリレー 第38位 岡田凱人・高野大希・芝本新里・黒田大貴 2分08秒24
--	--	---	---	--	------------------------------------	-------------------------------------	---	---



## □東京都高等学校新人水泳競技大会 (9月21日・22日)

●50m 自由形 予選 第215位 渡部雄一郎 31秒46	●100m 自由形 決勝 第6位 山野哲平 54秒40	●400m 自由形 タイムレース決勝 第37位 森西美光 4分44秒84 第45位 森田裕彬 5分06秒62	●50m 背泳ぎ 予選 第23位 赤津諒一 31秒18
----------------------------------	--------------------------------	--	--------------------------------

## □東京都高等学校長水路記録会 (9月28日)

●50m 自由形 第13位 浅野友軌 25秒87 第91位 佐橋瑞樹 28秒22	●100m 自由形 第2位 山野哲平 54秒28 第41位 大瀧智広 59秒49 第47位 中津力丸 1分00秒01 第82位 森西美光 1分03秒00 第83位 加藤光 1分03秒06 第95位 田中光 1分03秒82 第112位 佐藤凜弥 1分05秒14 第123位 山村昌斗 1分05秒64 第127位 森田裕彬 1分05秒82 第179位 渡部雄一郎 1分09秒25 第188位 水村崇滉 1分09秒70	●100m 背泳ぎ 第4位 野崎雄汰 1分01秒46 第20位 赤津諒一 1分06秒28	●100m バタフライ 第38位 加藤恭章 1分04秒58	●200m 個人メドレー 第16位 藤井涼矢 2分28秒57	●200m フリーリレー 第64位 加藤光・田中光・山村昌斗・佐橋瑞樹 1分51秒90 第65位 赤津諒一・渡部雄一郎・佐藤凜弥・浅野友軌 1分51秒92 第88位 大瀧智広・水村崇滉・森田裕彬・中津力丸 1分55秒07	●200m メドレーリレー 第20位 野崎雄汰・浅野友軌・加藤恭章・中津力丸 1分57秒50 第39位 森西美光・山野哲平・藤井涼矢・大瀧智広 2分01秒28
--	---	--	----------------------------------	-----------------------------------	---	---

# 中高剣道部

夏休みの8月4日、慶應義塾志木高等学校で五大学附属剣道大会が行われた。高校・中学ともに3年生が参加する最後の大会、本校剣道部は高三1名、高二1名、高一4名で7人制の高校の部に、中三6名、中二1名で5人制の中学の部に参加した。

高校の部 (トーナメント)	中学の部 (予選リーグ)
1回戦 対法政第二 負け	1回戦 対早大学院中 勝ち
2回戦 対明大明治 負け	2回戦 対慶応普通部 勝ち
3回戦 対慶応湘南藤沢 勝ち	3回戦 対法政大学中 勝ち
	4回戦 対立教新座中 勝ち
	(決勝トーナメント)
	準決勝 対慶応中等部 勝ち
	決勝 対立教新座中 勝ち

以上の結果、高校は第10位、中学は6年ぶりの優勝となった。

10月20日、豊島区秋季剣道大会が行われ、以下の戦績を挙げた。

中学一年生個人戦の部	豊田=優勝
中学三年生個人戦の部	小宮=優勝、鶴田=準優勝
高校生個人戦の部	近藤=優勝、多東=三位
中学生団体戦の部	立教池袋中A(小宮、鶴田、小笠原)=優勝 立教池袋中B(廣瀬、柴井、吉岡)=三位 立教池袋中D(町田、豊田、藤井)=三位
高校生団体戦の部	立教池袋高A(近藤、飯森、多東)=優勝

高校は8月19日の東京都秋季大会にて他校が5人で参加する中、4人で戦ったが十分な成果を挙げるには至らず、また中学生は、10月12日の第四ブロック剣道大会ではあと一步のところで都大会出場を逃した。

まだまだ成長途中の立教池袋中高剣道部、常に上を目指してチャレンジしていきたい。



9月で高校3年生が引退し、10月からは新体制での新たなシーズンが始まりました。高校3役は、キャプテン：大瀧、副キャプテン：森西、マネージャー：森田  
中学3役は、キャプテン：東海林、副キャプテン：菊池、伊与久  
です。彼らを中心に、どんなチームになるのかが、とても楽しみです。

顧問 酒井

次号は「10大(重大)ニュース号」です。  
お楽しみに! (編集担当)



試合結果報告

<都新人第4ブロック大会>  
 シングルス 第5位 北田、三林、齋藤  
 第9位 中野  
 ダブルス 第3位 中野・北田  
 ※以上の選手は都大会個人戦に出場しました。

<都大会新人団体戦>  
 ~ベスト32~  
 2R 5-0 対西葛西  
 3R 3-0 対明星学苑  
 4R 0-3 対小金井一

※夏休み以降、短い期間で大きな成長を見せてくれた新チームであった。団体戦では実力を発揮できればベスト8・関東大会進出を果たせるところに位置していただけに、4回戦の惜敗は悔やまれる。本番の試合というものは簡単には勝利を味わわせてはくれないもの。「練習は試合のように、試合は練習のように」を旨として、関東目指し励みたい。

中学卓球部

●秋季区大会 主要成績

シングルス ベスト8:小川 麻博  
 ベスト8:王 弥

3年生が引退し、2年生がメインとなり、1年生は春からの力が試される大会でありました。成績は個人戦でシングルス2名が城北大会への出場を決めたほか、ダブルスではベスト16からの繰り上がりで石田・太田ペアが城北大会への出場を決めました。また現在2年生の部員が少なく団体戦では困難を強いられましたが、2年生を中心としながら1年生の活躍も見られ、城北大会そして都大会への出場を決めることができました。

来月には都新人戦もあり、1年生の部員も増え、それぞれが自分の力を高め、またチームとして1月の城北大会、都大会での上位入賞を目標に日々の練習に取り組んでいきたいと思ひます。



高校庭球部

平成25年度 新人大会

~個人戦(単・複)結果~

出場者:甲賀(高2年)、山上(高2年)、漆山(高2年)、  
 荻津(高1年)、尾谷(高2年)、武田(高2年)、田嶋(高2年)、  
 高橋(高1年)、柳(高1年)

▽シングルス...甲賀が本戦2R進出  
 ▽ダブルス...甲賀・山上 ペアが本戦1R進出  
 ▽S2名 甲賀、山上 による累積ポイント=23点

○東京都私立中学高等学校テニス選手権大会(団体の部)結果

立教池袋高A 7R(QF)進出 →東京都ベスト8

立教池袋高B 5R進出

立教池袋高C 5R進出

秋の公式試合が終了。目標としていた“関東”への条件となる16校戦への進出を逃し、来春の団体戦へ向けて再始動した。チーム何を見て活動するかが問われている。奮起し、結束を。(顧問)

高校卓球部

9月 大東文化第一高校と練習試合をしました。

ジュニア予選・新人大会シングルスともに

高1 島村が 4回戦を勝ち抜き、5回戦進出

高校で卓球を始めた部員も含め、試合慣れできたようです。

高2 部員不在の中、中学校部員と練習試合をしたり、

今後の冬の時期は体力トレーニングと練習試合を

中心に、来年度も活躍できるように技量と体力を

温存・増強させておこう。



まだまだ厚いベスト16の壁

第95回全国高等学校野球選手権大会 東東京大会 2回戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
青稜	0	0	0	0	0	0	0			0
立教池袋	0	0	0	8	0	0	X			8

3回戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
立教池袋	0	0	0	3	1	0	0	2	0	6
都八丈	0	0	0	0	0	0	1	0	2	3

4回戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
都雪谷	2	3	0	0	3	1	0			9
立教池袋	0	0	0	0	0	0	0			0

※7回コールドゲーム

春季大会のコールド負けの悔しさを胸に臨んだ夏。

2回戦、3回戦と勝利し、初のベスト16入りを目指して臨んだ4回戦。相手は甲子園出場経験もある強豪。ベスト16に入るためには必ずこのような相手に勝たねばならず、何度もその壁に跳ね返されたきた。今年こそ...と強く思っていたのだが、結果は7回コールド負け。今年もこの壁を越えることができず、悔しい思いが残った。しかし、試合に出ているメンバーも多く残っている。この悔しさを忘れずに、来年の夏こそは、の気持ちで練習に励んでもらいたい。

3年生諸君、2年半の現役生活お疲れ様でした。この大会で一線を退くが、卒業するまでは野球部員。自覚ある行動を期待したい。

中学野球部

▽第34回 下町杯GIANTS中学野球大会 (8月21~23日)

一回戦	シード		
二回戦	vs 瑞江	10-0	○
三回戦	vs 青戸	0-8	● (ベスト16)
交流戦	vs 中田(宮城県)	7-0	○
〃	vs 習志野第四	2-1	○
〃	vs 大泉第二	2-1	○

▽秋季豊島区大会

一回戦	vs 本郷	5-1	○
二回戦	vs 西池袋	1-0	○
準決勝	vs 学習院	10-8	○
決勝	vs 西巣鴨	3-0	○ 優勝。7季連続でブロック大会出場

▽秋季第4ブロック大会

vs 郁文館(文京区2位)	0-5	● 都大会出場ならず
---------------	-----	------------

ここまでの戦績(11月22日現在) 51試合 20勝 24敗 7分

新チームで臨んだ今回の秋季区大会も優勝することができた。近年は選手の頑張りでも区大会ではほぼ毎回優勝することができている。しかし、都大会出場を決めるブロック大会ではこの秋も負けてしまった。今のレベルでは都大会に出ても勝てない。選手が自分を見つめ、短所と向き合い長所を伸ばす努力を継続中である。この頑張りが来春以降の結果につながるものと信じて頑張っていきたい。日頃の練習メニューやトレーニングにも新しい変化をつけている。選手自身も常に野球選手として姿勢や練習・試合の結果にも変化を求めてほしい。そうすればきっと良いチームになれると信じている。「秋 見つめて、冬 耐えて、春 夢もって、夏 燃える」



高校野球部

3年連続、秋季本大会出場! しかし...

秋季東京都高等学校野球大会ブロック予選 第12ブロック 1回戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
立教池袋	4	5	0	2	1					12
南葛飾	0	0	0	0	0					0

※5回コールドゲーム

2回戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
南平	0	0	0	0	0	0	0			0
立教池袋	3	0	2	3	0	1	X			9

※7回コールドゲーム

ブロック代表決定戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
立教池袋	0	3	3	0	0	0	1			7
調布北	0	0	0	0	0	0	0			0

※7回コールドゲーム

秋季東京都高等学校野球大会 本大会 1回戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
立教池袋	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2
日大豊山	1	0	0	0	0	1	0	2	X	4

来年の春季大会のシード権獲得を目標として臨んだ秋季大会。ブロック予選を勝ち上がり、まずは第一関門を通過し、本大会出場を決めた。3年連続出場ということで対外的にも立教池袋が認知されてきたのではと思う。

そして本大会。相手は初戦から甲子園出場経験のある強豪校。しかし、いつも通りの野球をやれば勝てるという強い思いで試合に臨みました。が、結果は負け。ヒットの数だけを見れば、立教池袋は11安打、相手は5安打。チャンスを作るものあと一本が出ない。予選とは違う緊張感の中でどれだけ普段の力を発揮できるか。自信をもって打席に立つには、やはりバットを振るしかないのではないか。これだけ振ったのだから絶対に打てる、というぐらい振り込んでほしいと切に願う。

対戦してわかったと思う。決して手の届かない相手ではないということ。だからこそ来たる春に向けて、この冬を大事に過ごしてほしい。そして、春季大会でも最低でも夏のシード権を獲得し、現2年生の最後の夏を迎えたい。



## 中学サッカー一部



### <豊島区夏季大会>

予選リーグ Cグループ

6月8日(土) 立教池袋 1 — 1 池袋

6月9日(日) 立教池袋 5 — 0 明豊 (グループ1位通過)

決勝トーナメント 準々決勝

6月23日(日) 立教池袋 0 — 2 巣鴨

### <高円宮杯東京都U-15リーグ>

7月15日(月) 立教池袋 2 — 3 芝

7月23日(火) 立教池袋 0 — 3 錦糸

7月29日(月) 立教池袋 3 — 3 三沢

7月30日(火) 立教池袋 3 — 1 牛込一

8月8日(木) 立教池袋 5 — 0 多摩落合

8月9日(金) 立教池袋 5 — 2 瑞江三 (Hグループ4位)

### <東京都私学大会> 1回戦

8月22日(木) 立教池袋 0 — 0 都市大付属  
(PK 3 — 4)

### <秋季豊島区大会>

予選リーグ Dグループ

10月1日(火) 立教池袋 2 — 1 池袋

10月6日(日) 立教池袋 1 — 2 千登世橋

10月12日(日) 立教池袋 1 — 1 西池袋 (Dグループ3位)

現中3の代は飛田コーチの熱心な指導の下、最後の最後までパスサッカーを心がけた。大会では良い結果を残せなかったが、現在、高校の練習に多く参加して技術に磨きをかけている。R.I.F.の招待試合では、対戦相手校を圧倒するパスワークで華麗なサッカーを披露した。大学体育会でも指導する飛田コーチの長期的なスパンを見据えたサッカー哲学は、現中3の中に生きている。中学の借りは高校で返してほしい。その一方で、新チーム(現中1・2)の秋季大会の結果は厳しいものとなった。顧問になってから豊島区の予選リーグで敗退した記憶は今までになく、屈辱的な思いをした。優勝校の千登世橋と、強豪校の西池袋が同じリーグに入ったとはいえ、実力不足だったことは否めない。その主な敗因としては、技術面が弱く、それを補えるだけの強い精神力やチーム力や身体能力がなかったためであろう。今回の豊島区の試合を見て分かったと思うが、どこの学校も実力差はほとんどない。ということは、この冬にどれだけ実力を高められるか、そして一歩抜け出せるかが春・夏の勝敗を決めると言える。耳の痛い話だとは思いますが、自己の能力を最大限に高めようとせずに、言い訳をして逃げてしまう、練習を簡単に欠席してしまう、練習に集中していないなど、意識の低い生徒がいるのが残念だ。一生懸命やったことと、手を抜いたことは、すべて自分に返ってくる。その差を埋めることは容易ではない。このことを肝に銘じて練習に臨んでほしい。(顧問)

## 高校サッカー一部



### 新人戦地区予選結果

1回戦 対 足立学園 1-3 × 1回戦から強豪校と当たることになった。新人戦なので、当たって砕ける位の気持ちで臨んで欲しかった。前半から、お互いにファールがあり、多少荒れた試合になったが、前半は0-0。相手校は焦り始めていた。後半開始早々に1点を先制されたが、すぐに同点に追いつき、一進一退の攻防が続いたが、相手校の方が一前上手だったか、終盤に2点を取られ万事休すとなった。相手校は楽勝と思っていた筈だが、今年の立教は今までと違うという印象を十分に与えた。今後に期待のできる試合であった。今までの練習は間違えてはなかった。今後も継続あるのみ。

新キャプテン:小長井 啓太(高2)  
副キャプテン:鈴木 俊輝(高2)  
マネージャー:本田 大晟(高1)

## 中学バスケットボール部

### 1. 夏の区大会結果☆3季連続準優勝☆木村海成が優秀選手賞☆

2回戦 ○立教 89-36 城西 ☆豊島区ベスト4決定

決勝リーグ第1戦 ○立教 52-31 本郷

決勝リーグ第2戦 ○立教 46-38 学習院

決勝リーグ第3戦 ●立教 35-45 巣鴨 ☆豊島区準優勝

新人戦から春季大会、夏季大会とすべて巣鴨中学校と優勝を争った。結果的に3回とも負け、3季連続準優勝であった。このチームは、本当にまとまりがよく、ベンチメンバーも一体となった練習、試合ができた。都大会への壁は厚かったが、どんなチームにも熱い試合をし、後輩たちへよき模範となってくれた。ご苦労様でした。

### 2. 新チーム始動!!私立大会ベスト8進出

新チームのスタッフは以下の通り。

主将:須田留佳 副将:山本総一郎

マネージャー:伊勢山太一郎、観世三郎太

夏合宿を経て、新チーム最初の公式戦は夏休み終盤の私立大会。その大会で大いに成長した姿を見せてくれた。試合ごとの成長には目を見張った。

予選リーグ(立教池袋中学校会場)

①立教 62-23 創価 ②立教 49-35 佼成学園

③立教 72-18 桜美林 ④立教 82-3 工学院大附属

⑤立教 74-16 海城 ⑥立教 36-45 日大豊山

⑦立教 104-6 城北 ☆予選リーグ6勝1敗で決勝トーナメント進出!!

決勝トーナメント

1回戦 ○立教 91-44 都市大付属

2回戦 ●立教 37-44 駒場東邦 ☆ベスト8



### 3. 豊島区秋季新人戦☆優勝☆須田留佳が優秀選手賞☆そして都大会へ☆

1回戦 ○立教 74-26 千登世橋

2回戦 ○立教 44-37 学習院 ☆豊島区ベスト4決定

決勝リーグ第1戦 ○立教 33-24 巣鴨

決勝リーグ第2戦 ○立教 42-18 西池袋

決勝リーグ第3戦 ○立教 51-46 西巣鴨 ☆優勝、都大会出場

昨年の同時期の運動部通信に「そろそろ区を出ようではないか」と書いた。ついにその時がやってきた。立教池袋中学校になってからの初優勝。

選手の頑張りはもちろんのこと、練習相手になってくれた高校生、都大会への道をここまでつないでくれた先輩、陰でサポートしてくれる家族...多くの人の支えがあってこそその結果である。私立大会ベスト8に自惚れ、大きく調子を落としシード権も逃した最悪の状態からよく立ち直った。さあ、いよいよ都大会だ。

都大会1回戦 11月23日(土) vs 麻布 (@足立学園) 14:20~

応援よろしく申し上げます  
顧問



## 高校バスケット部

高校バスケット部は、1年生8名、2年生4名の計12名で日々練習に励んでいます。

最近、このメンバーに中3も加わっています。

先日新人戦支部大会があり、1勝しましたが、2回戦では1点差で敗れてしまいました。

次の公式戦は春になってしまいますが、この冬の間に強くなるため頑張っています。

### 秋の新人戦支部大会結果

○立教 78-42 都井草●  
12-20/18-13/23-4/25-5

●立教 61-62 都小平○  
18-13/10-18/20-17/13-14

### 新三役決定!

キャプテン:吉田 知祐  
副キャプテン:瀧島 勇気  
マネージャー:小室 駿

### 支部選抜候補!

1年生の小林 悦央君が、第4支部の支部選抜候補選手になりました。選考会は12月に行われます。選抜選手に残れるよう、部としても応援しています!!